

B 安心を支える社会基盤整備！

感染症・災害への対応と最新の教育のため、100年先を見据えた投資を決断！

⑨ 県内学校のICT対応を目指し、「教育イノベーション」を始動

- 県立高校、県内市町村立の小・中学校における1人1台PC整備
 - ・ 児童・生徒一人一人に対して個別最適化された教育の推進
 - ・ 新型コロナウイルス第2波・第3波に備えた子どもたちの学びの保障
 - ・ 今年度中に、県立高校、33市町村立小・中学校で1人1台PCを実現
(2市は、3年計画で整備)

○ 教育イノベーション・プロジェクトの開始

- ・ ぐんまの未来を切り拓く新しい学びの実現
STEAM教育、ICTリテラシー向上、プログラミング教育、
学校現場DX、教員指導力向上などの推進



12

B 安心を支える社会基盤整備！

感染症・災害への対応と最新の教育のため、100年先を見据えた投資を決断！

⑪ 「5つのゼロ宣言」で、SDGsのトップランナーへ

- 宣言1 自然災害による死者「ゼロ」
- 宣言2 温室効果ガス排出量「ゼロ」
- 宣言3 災害時の停電「ゼロ」
- 宣言4 プラスチックごみ「ゼロ」
- 宣言5 食品ロス「ゼロ」

災害に強く、持続可能な社会を構築するとともに、県民の幸福度を向上！



<小泉進次郎環境大臣に『ぐんま5つのゼロ』を宣言>

14

B 安心を支える社会基盤整備！

感染症・災害への対応と最新の教育のため、100年先を見据えた投資を決断！

⑩ 「県土整備プラン」の舵を切り、レジリエンスNo.1の構築をスタート

○ 『群馬・気象災害非常事態』を宣言

- ・ 災害に強く持続可能な群馬県を構築するため、緊急的、集中的に防災・減災対策を推進

台風第19号による被災状況を国土交通大臣に説明
- 国道144号鳴岩橋（嬋恋村） -
(令和元年11月)



堤防の緊急かさ上げにより水害リスクを軽減
(令和2年5月末)



13

C 新たな群馬の誇り育成！

県の魅力を再発見するブランディング戦略と、トップセールスによる情報発信をスタート！

⑫ 「ぐんま暮らし」ブランド化の強化

⑬ 県のクリエイティブ拠点化に向け、コンテンツ制作を誘致

⑭ 「ぐんまちゃん」の魅力を引き出すメディア戦略を展開

⑮ 知事自らのトップセールスで、群馬の見解を国内外に発信

⑯ オール群馬の情報発信拠点「tsulunos」を開設

15

C 新たな群馬の誇り育成！

県の魅力を再発見するブランディング戦略と、トップセールスによる情報発信をスタート！

⑫「ぐんま暮らし」ブランド化の強化

○オールぐんま暮らし 「体験型移住フェア」開催

・知事によるトップセールスを実施



○オンライン移住相談

・6/25から開始



○ふるさと回帰支援センターに全市町村が加入

16

C 新たな群馬の誇り育成！

県の魅力を再発見するブランディング戦略と、トップセールスによる情報発信をスタート！

⑭「ぐんまちゃん」の魅力を引き出すメディア戦略を展開

○群馬の魅力や日々思う ことをぐんまちゃんが SNSで発信



○ぐんまちゃんの魅力を 世界中に発信するため アニメ制作に着手



○ぐんま広報での 4コマ漫画掲載



18

C 新たな群馬の誇り育成！

県の魅力を再発見するブランディング戦略と、トップセールスによる情報発信をスタート！

⑬県のクリエイティブ拠点化に向け、コンテンツ制作を誘致

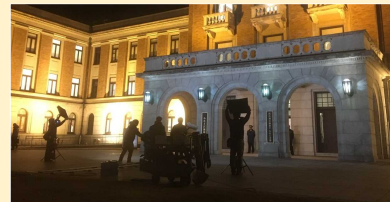
○ロケ誘致の強化

「ぐんまフィルムコミッション専用サイト」制作に着手

○ロケ誘致体制の拡充 (R元→R2)

予算 207千円 ➔ 3,305千円

人員 1名(兼務) ➔ 4名(専任)



昭和庁舎での撮影 ケイジとケンジ 所轄と地検の24時 (テレビ朝日)

17

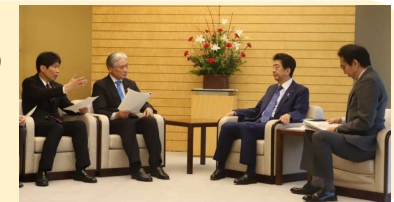
C 新たな群馬の誇り育成！

県の魅力を再発見するブランディング戦略と、トップセールスによる情報発信をスタート！

⑮知事自らのトップセールスで、群馬の見解を国内外に発信

○大臣へのトップ交渉

- ・CSF対策(安倍首相、江藤農林水産大臣)
- ・台風19号被害要望(赤羽国土交通大臣)
- ・新型コロナウイルス感染症対策(西村経済再生担当大臣、高市総務大臣、加藤厚生労働大臣) など



○知事によるトップ外交

- ・インディアナ州知事と会談
- ・ベトナム訪問(副首相兼外相らと会談)



19

C 新たな群馬の誇り育成！

県の魅力を再発見するブランディング戦略と、トップセールスによる情報発信をスタート！

⑩オール群馬の情報発信拠点「tsulunos」を開設

- ・県庁32階に情報発信拠点「tsulunos」を開設
- ・職員自らが動画を作成し、YouTubeチャンネル「tsulunos」で配信

掲載本数(7/27)

455本



再生回数(7/27)

約56万回

20

D 官民連携による行財政改革！

民間の知恵とリソースを活かした、「オール県民参加」の県政をスタート！

⑪県庁DX（デジタル・トランスフォーメーション）で業務を効率化

○CDO（Chief Digital transformation Officer）設置

- ・デジタル技術による県政・県庁の業務プロセス改革・EBPM*の推進
*データ分析に基づく政策立案

○リモートワークの推進

- ・在宅勤務の導入
- ・電子決裁を原則化
- ・web会議の推進
- ・デスクトップPCをノートPCに更新



在宅勤務をする県庁職員



ノートPCを利用した業務

22

D 官民連携による行財政改革！

民間の知恵とリソースを活かした、「オール県民参加」の県政をスタート！

⑪県庁DX（デジタル・トランスフォーメーション）で業務を効率化

⑱官民の垣根を取り払い、「共創」の体制を整備

⑲大規模組織再編で、県庁マネジメントのスピードをアップ

⑳暮らしに密着した「市町村」と県が、一体となって対策を展開

㉑群馬独自の「ウィズコロナ」/「ポストコロナ」を構想

D 官民連携による行財政改革！

民間の知恵とリソースを活かした、「オール県民参加」の県政をスタート！

⑱官民の垣根を取り払い、「共創」の体制を整備

- 民間の知恵を活用（企業管理者、政策アドバイザー、メディア戦略アドバイザー、CDOの登用）

- 新・総合計画策定懇談会

- 総合計画（ビジョン）策定に向けた

外部有識者ヒアリング

- 金融機関との連携強化

（「ぐんまの未来共創宣言」による群馬銀行、東和銀行との連携強化等）



第4回外部有識者ヒアリング<三浦瑠麗氏>

23